

「洛北SSHだより」では、本校SSH事業の取組や様々な情報を発信しています。

## 1 第20回科学地理オリンピック日本選手権で本校生徒が銅賞受賞！

国内で毎年開催される『地理オリンピック』は地図や統計資料、景観写真を見て、問いに答えるものです。基礎的知識に加え、前述の諸資料の読解力・分析力、そしてそこで得られた情報を基に課題解決策などを提示する論理的思考力が求められます。2月16日(月)に開催された第2次選抜(139名が受験)に山田洸瑛さん(2年)が参加され、見事銅メダルを獲得されました。地理オリンピックで洛北生がメダリストになるのは第15回大会以来5年ぶりです。

高校では地理が必修化され、文系の生徒も授業で学ぶことが出来ますし、洛北高校には、地理オリンピックの運営に携わる先生もおられますので、皆さんもチャレンジしてみてください。

## 2 第18回日本地学オリンピックで本校生徒が銅賞受賞！

毎年開催される『日本地学オリンピック』は、約1500人の鉱物や宇宙、気象などが大好きな中・高校生が参加しています。今年度3月15日(日)～17日(火)に開催された第18回日本地学オリンピック本選に参加した橋本煌平さん(2年)が見事銅賞を受賞しました。地学オリンピックの本選では、筆記試験だけでなく、岩石や化石を見て名称や鑑定の根拠などを考える実技試験も出題されます。洛北高校にはたくさんの鉱物や化石の標本があります！対策講座も実施することができるので、ぜひ石や宇宙など地学に興味のある皆さんは挑戦してください。

## 3 ジュニア日本農芸化学会 2026

3月12日(木)、同志社大学にて「ジュニア農芸化学会2026」が開催されました。課題探究Ⅱの研究から「アオジソの香りがバリアになる！？～ペリラルデヒドの抗菌作用～」という題名で本校生徒が発表を行いました。アオジソの香気成分であるペリラルデヒドの抗菌性を確かめるため、京都府立医科大学に週2回通いながら研究を重ね、内容を深めてきました。粘り強く研究に取り組む姿勢に加え、得られた結果の整理や、それに対する考察の深さは、とても高校生とは思えないほど見事なものでした。



この1年間の取り組みを間近で見てきた者として、心から敬意を表します。本当にお疲れさまでした。

## 4 第15回日本金属学会2026年春期 第178回講演大会 高校生・高専学生ポスター発表

課題探究Ⅱで、「空調設備のない体育館避難所の暑熱環境改善～気流に着目した換気最適化～」をテーマに研究を行っている生徒が、3月18日(水)に開催された日本金属学会主催のオンラインポスター発表に参加しました。災害時でも、窓や扉の開け方で効率的な換気が可能かモデルを作成し色々な条件で実験を行ってきました。その成果を、大学や研究機関の方や、他の高校生にむけて分かりやすく説明することができました。発表では、視点や実験方法の工夫を褒めていただき、今後に向けて励みにすることができました。



## 5 洛北高校 課題研究発表会

3月11日(水)、課題探究Ⅱ・SHOOT Lab・サイエンスチャレンジで取り組んだ成果を発表する「課題研究発表会」を実施しました。今年度も、招待校として京都府立園部高等学校がポスター発表を、京都府立南陽高等学校がポスター掲示で参加しました。当日は、科学技術振興機構の主任調査員の方をはじめ、本校SSH事業にご協力いただいている大学の先生方、全国のSSH指定校や府内高校の先生方にも見学いただき、大変活気のある発表会となりました。今年度から会場が広い体育館に変わり、少し肌寒い環境ではありましたが、発表の熱気で会場は終始盛り上がり、時間が短く感じられるほど充実した会となりました。



## 6 【中学1年】洛北サイエンス 京都大学総合博物館 校外学習

3月12日(木)の午後から京都大学総合博物館に見学に行きました。京都大学がこれまで研究を進めてきた、生物の化石などの展示や、企画展示として考古学と模型についての展示を見学することができました。特別に博物館の館長さんや京都大学の教授に常設展示と企画展示の解説をしていただき、貴重なお話を伺えました。ゾウの進化の過程の話や、なぜ考古学と模型がつながっているのかなど、非常に興味深い内容で、生徒の中でも質問をする人や、必死にメモをとっている人も多かったです。身近に貴重な資料を見ることが出来る場所があることや、その興味深さを実感することができた半日でした。常設展だけでなく、定期的に企画展も実施しているそうですので、皆さんも機会があればぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 7 高校1、2年生に Matrix ポートフォリオを返却・洛北アクティブラーナーアワードも表彰

今年度のサタデープロジェクト・サイエンスチャレンジの参加の履歴、授業の履歴を掲載した Matrix ポートフォリオを、Classi を通じて配付しました。さらに、年間で最も多くの取組に参加した各学年の生徒1名を表彰する目的で、洛北アクティブラーナーアワードを授与しました。洛北高校SSHでは、企画への主体的な参加を推奨しています。洛北アクティブラーナーアワードの受賞もありますし、1年生は来年度ぜひたくさんの企画に参加してもらって、視野を広げたり、探究の深まりにつなげたり、キャリア意識の向上につなげてほしいと思います。Matrix ポートフォリオの内容についての問い合わせは総務企画部までお願いします。

## 8 洛北 AAR モデルとは？

洛北 AAR モデルは、Anticipation(見通し)→ Action(行動)→ Reflection(振り返り) の3段階から成る AAR サイクルを繰り返すことで、未来に対応・貢献できる力(コンピテンシー)を育むための反復的な学習プロセスを身に着けるシステム構築に取り組んでいます。生徒の皆さんには、サイエンスチャレンジ・サタデープロジェクトへの参加を Action(行動)の場として活用し、Matrix ポートフォリオやアンケートでの Reflection(振り返り)、申込用紙のねらい設定の確認や興味関心・探究の必要性確認を Anticipation(見通し)として、AAR サイクルを意識的に回してもらうことで、学習プロセスを身に着けていってほしいと思っています。ぜひ、色々な場で意識して取り組んでください。

